

No. 2270

おだやかな山稜と富士の展望 今倉山～道志二十六夜山

実施日 平成18年11月4日(土)

天候 曇り

リーダー 涌井 良明

費用 交通費 ホリデーパス 2,300円
タクシー 1,260円 大月→
都留市 450円 赤坂→大
月 370円 合計 4,380円

参加者 上野キヨ、吉田正之、馬場清士、涌井
良明、鈴木恵美子、山崎富美恵 計
6名

コースタイム 都留市駅(8:50~9:00 タクシ-)道坂ト
ンネル(9:20~9:30)1310m峰(10:15~10:20)
今倉山(10:50~11:00)御座入山(11:12)松
山(赤岩)(11:41)昼食(11:57~12:25)二十六
夜山(13:11~13:30)車道(14:39)西川バス
停(15:08)赤坂駅(16:00)

道坂トンネルでタクシーを降りると、昨日
までの予報に反して雲空である。富士の眺め
は期待できないのか？ちょっと残念な気分で



山道に入る。割と急
な登りで尾根上に出る、右は御正体山
への縦走路になっ
ている。我々は左へ
尾根を登るがここ
も結構急な登りが

続く、小広い1310m
峰で一息入れるが、休
んでいると少し寒く
感じる、樹林にうっす
らと絡みながら流れ
るガスは雰囲気は悪
くないが、この時期か
らは暖かい陽射しあ
ったほうがうれしい。
一度僅かに下り、今
倉山本峰の登りにか
かる、高度も上がり
時々ガスに包まれな
がここも急な登りを
強いられる。晴れて
いれば眺めに慰めら
れるようだが、今日
は替わりに所々現
れる紅葉に気を紛ら
せて登る。山頂とい
うより、稜線に飛び
出すといった感じ
で今倉山の山頂に着
く。いわゆる道志山
塊の主脈の一角で、
右は菜畑山、赤鞍ガ
岳へ連なる。今はガ
スだが晴れていても
展望は良くないよ
うだ。写真を撮って
左へ稜線を辿る。十
数分で御座入山にな
る、双耳峰の今倉山
西峰に当たる。ここ
から下りきったとこ
ろで、左から踏み後
が合流し一登り



で狭い松山(赤岩)である。このコース随一の
展望台だが、今はどこを向いても白い世界が
広がっている、先客が所狭しと開店中でス
ペースも不足なのですき腹を抱えて先へ進む。
小さな登降を繰り返しやや広くなった冬枯れの雑木林
風の場所で昼食にする、薄日もあってに
ぶい青空も見え隠れしている。



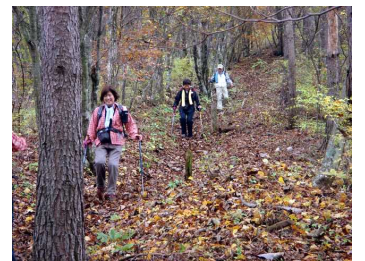
食後再び小さく登降して発破の注意看板に導
かれて林道に出る、この辺りの紅葉はなかな
か見事である、前方にこんもりと二十六夜山
が見える、またくっきりではないが御正体山
も大きく見え、奥には三ツ峠も望めた。林道



を右に100m程で
山道に戻る、だら
だらと少しの急登
で二十六夜山
である。ぽつんと
あるカエデが孤軍
奮闘の美しい愛
嬌を振りまいて

てくれていた。相変わらず遠望はきかないが
のんびりと下山前の山頂を楽しむ。

上戸沢へは石碑の先から右方向へ下り始める、
すぐに急な下りになりしばらく続く、所々手
掛かり用ロープが張られている、今は落ち葉



が少しはカバーし
てくれているが濡
れていれば非常に
滑り易い下りであ
る。下りきると道標
と通せん坊に促さ
れて、尾根から外れ
右へジグザグに下

るようになる。涸れている沢床近くで左岸を
下る道に入り、やがて流れの音も聞こえ出し
右岸に道を換え傾斜も緩くなり間伐展示林の
看板を過ぎ車道に出る、山道はこれでお終
いだが歩きは更に続く、右へ緩く下って行き
T字路を左へ戸沢集落を抜けバス停へ出るが、
午後は17時過ぎにあるだけなのでそのまま1
時間ほど歩き富士急赤坂駅に出て歩きは終
りになった。

思いのほか青空には恵まれなかったが、晩秋
の低山歩きの趣でそれなりに良かったかなと



思う、また反省会もパート1、
2と盛り、終り良ければ
全て良しで、メデタシメ
デタシ??

参加頂いた皆様ありがとうございました。

(記・涌井 良明)